



# ひびき

◆ゆたかなかわりを求めて  
夢や希望をもち  
未来をひらく子ども

## 令和4年度運動会スローガン「きずなのパワーで勝利をつかめ！！」 ～運動会（5/21）開会のあいさつより～

校長 渡邊 芳久

（略）

令和4年度がスタートして早々の4月。私たちの学校では、合わせて9つの学級で新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖を行いました。私たちの学校は全部で30の学級がありますから、そのおよそ1/3の学級を次々と閉鎖したのです。

その頃の私は、「今年の春の運動会は、開催できるのだろうか？」という不安、心配な気持ちでいっぱいでした。全校の皆さんはどんな気持ちでしたか？

特に、6年生は小学校生活最後の運動会となるわけですから、きっと不安な気持ちになった人たちも少なくなかったのだと思います。

しかし、皆さんは、そんな私の不安、そして、自分自身の心配な気持ちを振り払うように、今日の運動会に向けて一生懸命に練習を続けてきました。日々の体育の時間での練習はもちろん、昼休みを使っての全校応援練習などでの、その一生懸命な姿は、私の心がかがやかせてくれました。今日まで、本当によく頑張りました。みなさん、ありがとう！

ですから、今日まで私がかがやかせてくれた皆さんに、私からエールをおくりします。

（略）

## ～運動会（5/21）閉会のあいさつより～

（略）

今、私はピンクのシャツを着ています。何故だかわかりますか？そうです。赤組の赤と白組の白色を混ぜ合わせるとピンクになるからです。

もうすぐ令和4年度の運動会は終わります。これまで、赤組と白組に分かれて競い合い、それぞれの応援団長を中心にかがやかせて合ってきた運動会は間もなく終了です。

明日からは、また、618人の子どもたちと先生方一人一人がかがやき、かがやき合い、そしてお互いがかがやかせる一ノ木戸小学校にしていきましょう！

保護者、地域の皆様、本日は早朝よりご来校いただき、子どもたちのために温かなご声援を送り続けてくださいました。おかげさまで、3年ぶりに春の運動会が盛大に開催できました。一人一人の子どもたちのことを大切に思う皆様のお気持ち、そして多大なるご支援の賜物であると思います。皆様に心より感謝申し上げます。

しかし、今後、新型コロナウイルス禍の下、様々な教育活動を実施し続けていくには、多くの工夫が必要です。引き続き、保護者地域の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げ、令和4年度一ノ木戸ポプラ学園一ノ木戸小学校運動会の閉会のあいさつといたします。